

2025年3月期 個人投資家向け説明会

2024年8月30日

人・街・未来をまもる



東洋テック株式会社

証券コード：9686



池田 博之（いけだ ひろゆき）

1960年10月9日生まれ（63歳）

1983年3月 横浜国立大学経営学部卒業

1983年4月 大和銀行(現 りそな銀行) 入行

2018年3月 りそな銀行 副会長

2018年5月 (一社)関西経済同友会 代表幹事

2020年6月 東洋テック株式会社

代表取締役社長（現職）

2024年5月 一般社団法人大阪府警備業協会
会長（現職）

2024年6月 一般社団法人全国警備業協会
副会長（現職）

1	会社概要・事業概要	3
2	東洋テックの特徴・強み	12
3	2024年3月期 決算の概要	17
4	中期経営計画の進捗状況	22
5	対処すべき課題と今後の取組み	27

1. 会社概要・事業概要



警備とビル管理の会社

- ・ 関西初の警備会社
- ・ 関西唯一の上場警備会社
- ・ 銀行が作った警備会社



創業



1966年

資本金



46億18百万

従業員数



1953名

平均年齢



44歳

売上高



312億

営業利益

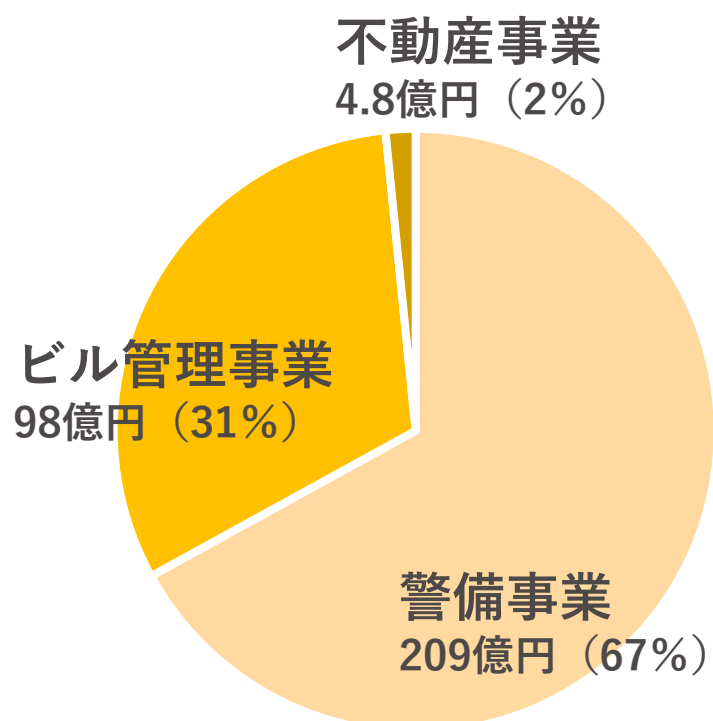


9.6億

本 社 所 在 地	大阪市浪速区桜川一丁目7番18号
設 立	1966年1月5日
資 本 金	46億18百万円
事 業 内 容	警備事業…………… 機械警備業務、輸送警備業務、常駐警備業務、 ATM管理業務、工事・機器販売、ホームセキュリティ ビル管理事業… ビル総合管理、清掃業務 不動産事業…………… 不動産賃貸業務、不動産仲介業務、不動産販売業務
株 式	東京証券取引所スタンダード市場上場 コード番号 (9686)
売 上 高	312億円 (2024年3月連結実績)
従 業 員 数	1,953名 (連結) 他、臨時従業員数1,907名 (2024年3月時点)
グループ会社	(株)東警サービス、東洋テック姫路(株)、東洋テックビルサービス(株) テック不動産(株)、五大テック(株)、アムス・セキュリティサービス(株) (大阪) アムス・セキュリティサービス(株) (福知山)、アムス・シークレットサービス(株) 関西ユナイトプロテクション(株)

1966年 1月	東洋警備保障(株)（現 東洋テック(株)）を設立 福德相互銀行を設立母体とし、創業に賛同出資した企業の多くも金融系
1967年 2月	機械警備業務を開始
1968年 2月	輸送警備業務を開始
1980年 5月	金融機関のキャッシュサービスコーナーの自動運行管理業務を開始
1982年 9月	CD総合管理を行うATM管理業務を開始
1988年 4月	東洋警備保障(株)から東洋テック(株)に社名を変更
1990年 12月	大阪証券取引所市場二部に上場
2001年 9月	関西電力(株)、日本パナユーズ(株)とホームセキュリティ共同会社 「(株)関電セキュリティ・オブ・ソサイエティ」（関電SOS）設立
2002年 6月	関電SOSのホームセキュリティサービスを開始
2013年 7月	東京証券取引所市場第二部に移行
2022年 4月	東京証券取引所スタンダード市場に移行 グループ会社 東洋テックビルサービス(株)設立
2022年 5月	五大テック株式会社（本店：大阪市）を当社の関係会社とする
2023年 4月	清掃会社2社を東洋テックビルサービス及び東洋テック姫路に統合
2024年 5月	アムス・セキュリティサービス(株)（大阪）、アムス・セキュリティサービス(株)（福知山）、 アムス・シークレットサービス(株)を当社の関係会社とする
2024年 6月	関西ユナイトプロテクション(株)を当社の関係会社とする

<2024年3月期売上高>



警備事業

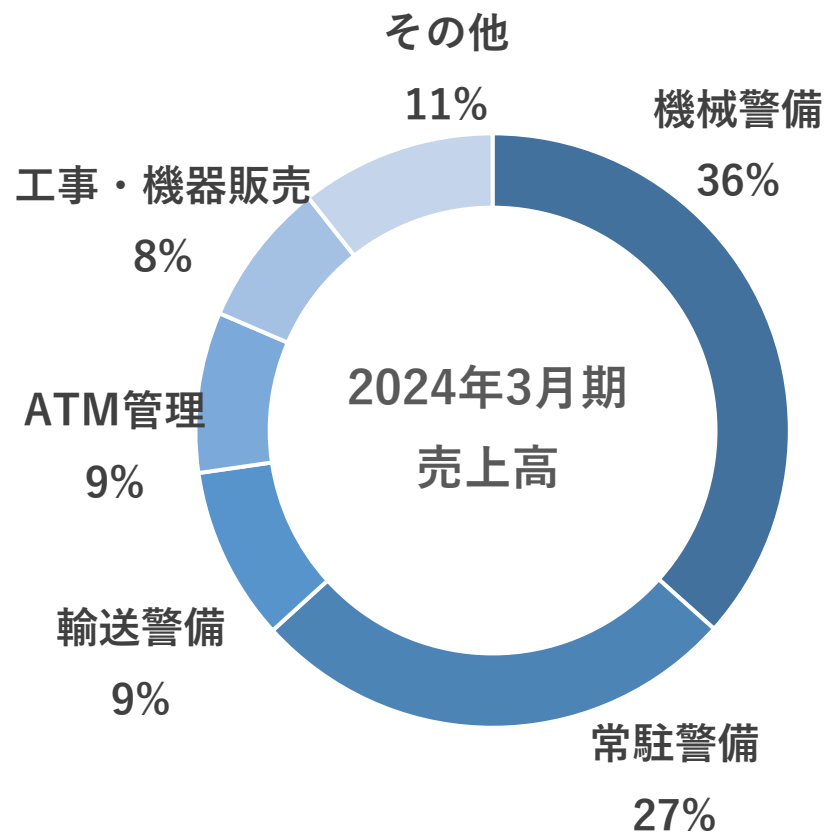
ビル管理事業

不動産事業

東洋テック
東警サービス
東洋テック姫路
五大テック

東洋テックビルサービス

テック不動産



機械警備



常駐警備



輸送警備



ATM管理



建物に関するあらゆる業務を フルサポート！

- ✓大規模修繕
- ✓消防設備点検
- ✓エレベーター設備点検
- ✓給水設備点検
- ✓建物の日常清掃、定期清掃 等

日常清掃・定期清掃



設備管理・点検・改修



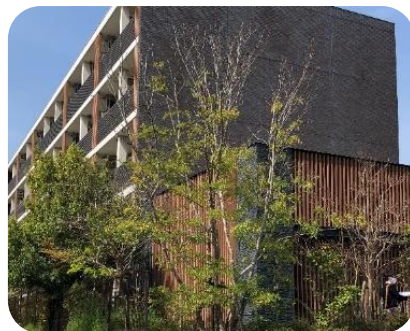
■ 賃貸業務

収益不動産投資 計7件

オフィス 1件



住宅 3件



ホテル 1件



商業施設 2件



■ 仲介業務

売主



仲介手数料



仲介手数料

買主

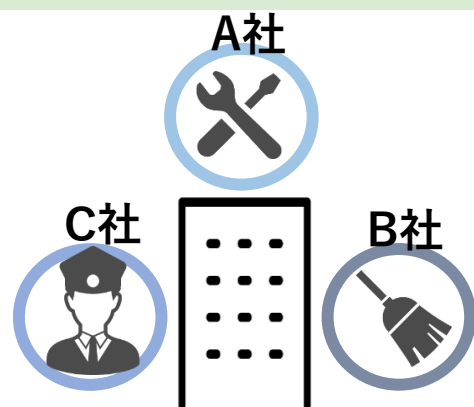


- 不動産情報を早期取得。
- 他社に先駆けビル管理を一括して受託する為のアプローチを行う。

2. 東洋テックの特徴・強み

- 警備からビル管理（設備管理・修繕・点検・清掃ほか）まで一括して任せられる “総合ビル管理会社”

ビル1棟を東洋テックグループで一括管理



- ・ 業務効率化
- ・ コスト削減



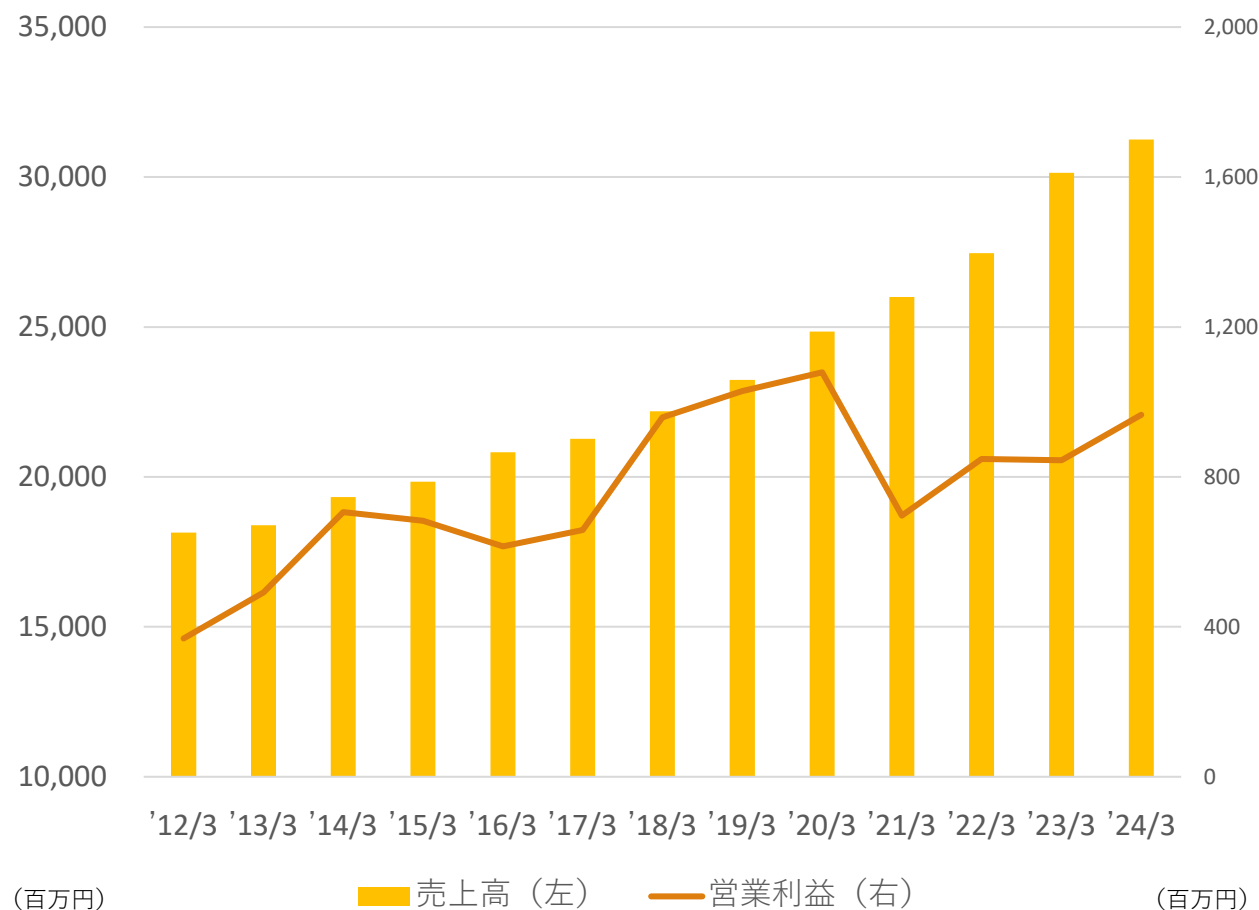
	ビル管理会社 A社	清掃会社 B社	警備会社 C社
警備	×	×	○
設備管理他	○	×	×
清掃	○	○	×

当社グループ

- 東洋テック、東警サービス
東洋テック姫路、五大テック
アムスグループ（3社）
関西ユナイトプロテクション
- 東洋テックビルサービス
- 東洋テックビルサービス

- 創業以来、営業利益・経常利益は黒字を確保。
- 警備事業や清掃業務はストックビジネスであり、安定した業績。

売上高・営業利益推移

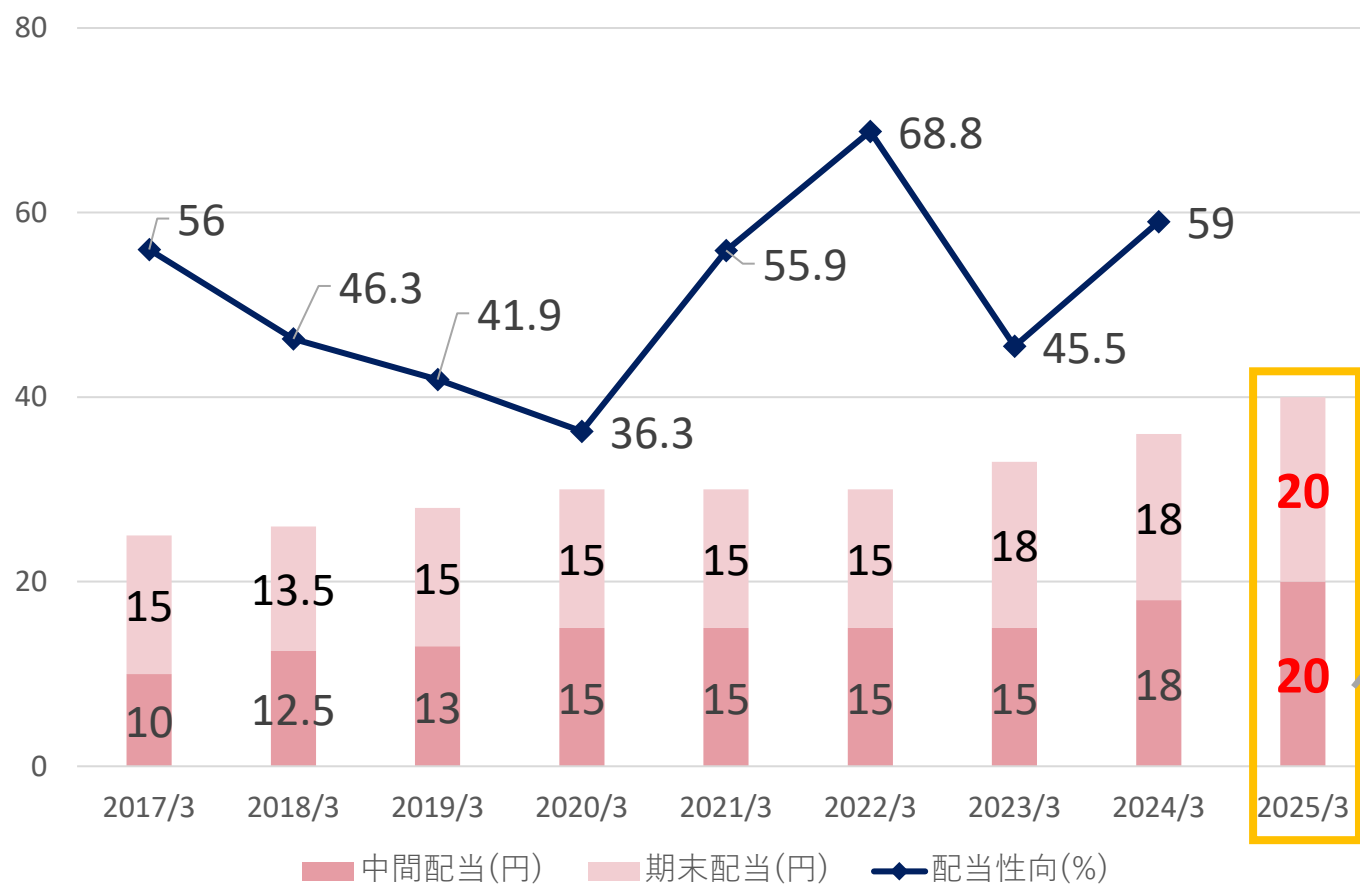


創業以来
黒字



13期
連続増収

- 配当方針：配当性向50%を目途に安定配当。
業績に連動した配当を目指します。



株主資本配当率(DOE)
の要素も意識した
配当政策を検討。
今年度は
年間40円配当
を目指す。

(%)

対象となる株主様

毎年 **3 月末日現在の株主名簿** に記載または記録された **500 株以上** の当社株式を保有されている株主様。

株主優待の内容

保有株式数に応じて優待ポイントを進呈いたします。
株主様限定の特設ウェブサイトに掲載されている商品からお好みの商品をお選びいただけます。



50,000 point ~ (2,500株~) の対象優待商品例



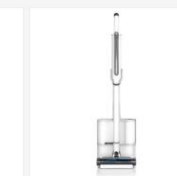
<日本のおいしい料理>
伊勢海老和洋割烹料理5種9食



<スガモト>
松原牛 黒コース すき焼き・しゃぶしゃぶ
用 各725g



<ビクトリノックス>
エアロックス グローブULキャリーオン
バック
W40×D20×H55cm容量：33L



<シャーク>
Shark EVOPower SYSTEM STD+
コードレススティッククリーナー
CS1503AE

保有株式数	進呈ポイント数	進呈時期
500 株 ~ 599 株	5,000 P	5月下旬
600 株 ~ 699 株	7,000 P	
700 株 ~ 799 株	9,000 P	
800 株 ~ 899 株	11,000 P	
900 株 ~ 999 株	13,000 P	
1,000 株 ~ 1,499 株	15,000 P	
1,500 株 ~ 1,999 株	25,000 P	
2,000 株 ~ 2,499 株	35,000 P	
2,500 株 以上	50,000 P	

制度の開始時期

2024 年 3 月末日現在の株主名簿に記載または記録された株主様を対象として開始いたします。

3. 2024年3月期 決算の概要

- 2024年3月期は、値上げへの取組み強化、組織体制整備完了等により前期比増収、営業利益・経常利益ベースで増益。
- 公表計画値に対しては、ビル管理事業の収益性改善の遅延、不動産事業における大口案件の期ずれにより売上・利益とも未達。

(単位：百万円・%)	2023年3月 実績	2024年3月 実績	前年度比	2024年3月 公表数値	公表対比
売上高	30,139	31,249	1,110 +3.7%	31,500	99.2%
営業利益	844	966	121 +14.4%	1,200	80.5%
経常利益	964	1063	99 +10.3%	1,250	85.1%
親会社に帰属する 当期純利益	741	626	△115 -15.6%	750	83.5%
1株当たり 当期純利益(円・銭)	72.6	60.98	△11.62 -16.0%	73.40	—

- 警備事業 値上げ効果、新規受注が好調で増収増益。
- ビル管理事業 東洋テックとの協働により増収増益となるも、値上げ対応・内製化等の遅れにより利益面は伸び悩み。
- 不動産事業 大口案件の期ずれにより前期比大幅な減収減益。

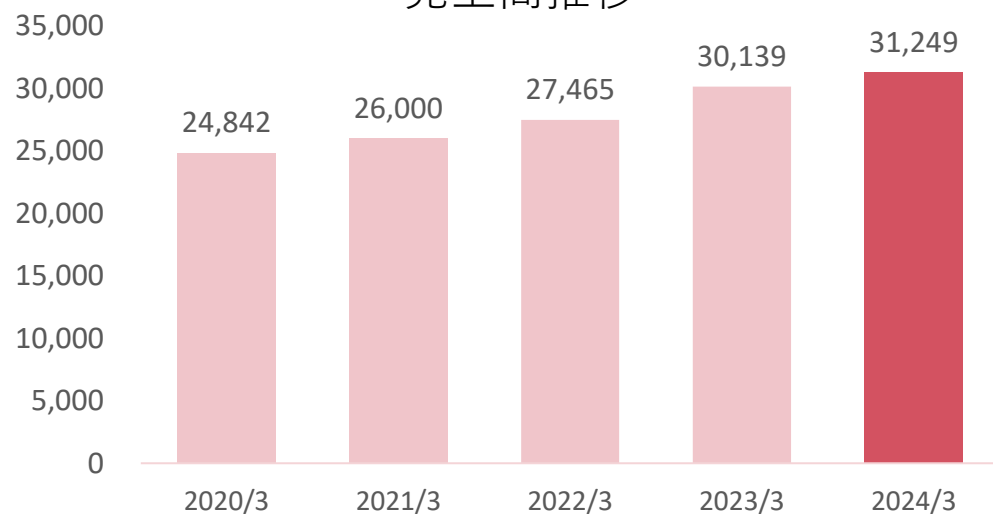
(単位：百万円)	2023年 3月 実績			2024年 3月 実績			前年度比		
	売上	構成比 (%)	セグメント 利益	売上	構成比 (%)	セグメント 利益	売上	増減率 (%)	セグメント 利益
警 備 事 業	19,802	66	459	20,940	67	718	1,137	6	258
ビル管理事業	8,909	30	89	9,820	31	160	911	10	70
不 動 産 事 業	1,426	5	282	488	2	91	△938	△65.8	△191
調 整 額	—	—	12	—	—	△3	—	—	△16
合 計	30,139	100	844	31,249	100	966	1,110	4	121

(注)セグメント利益の調整額は、セグメント間の取引消去によるものです。

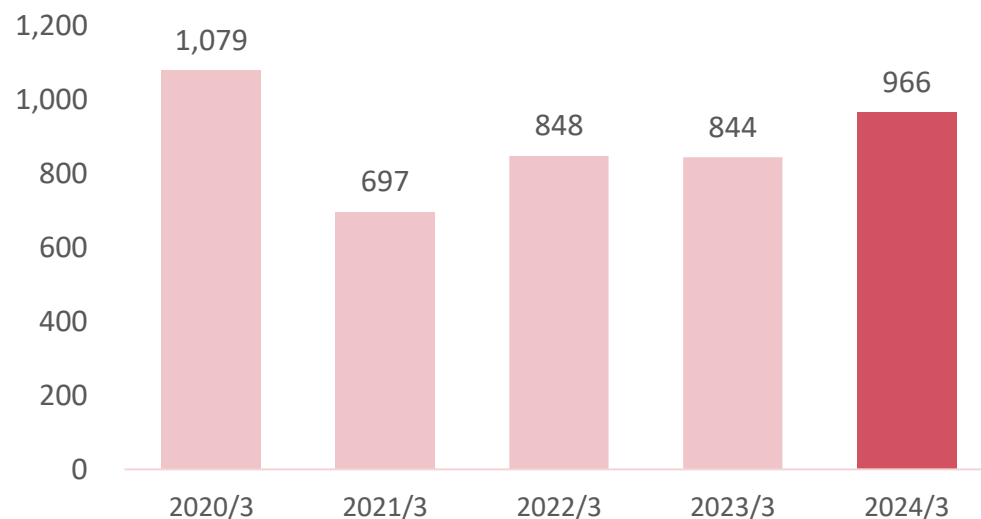
業績の推移（連結）グラフ

（単位：百万円）

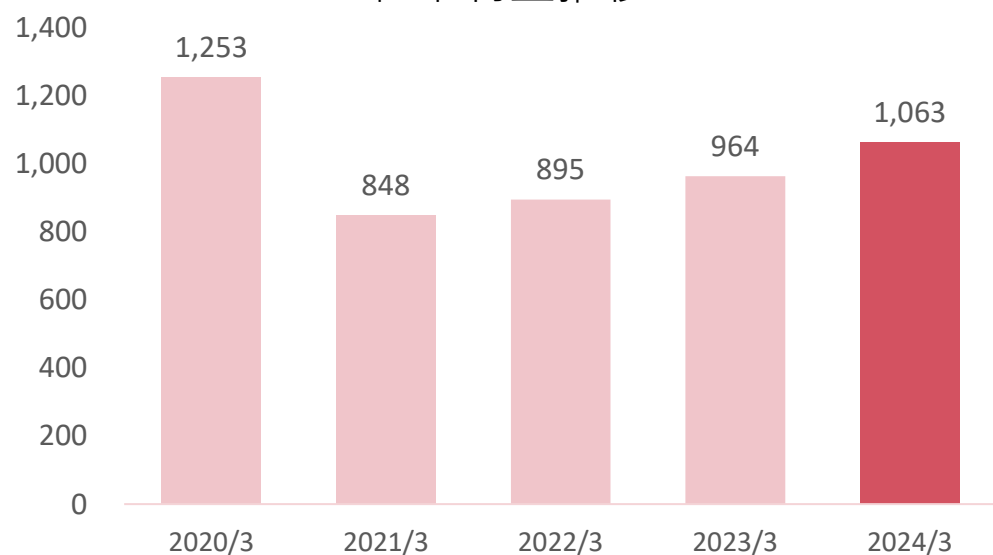
売上高推移



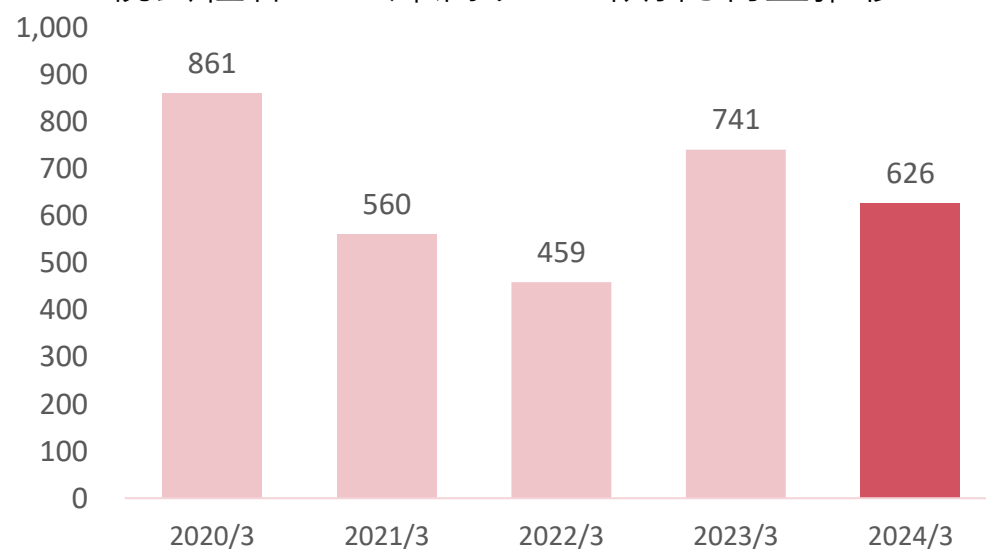
営業利益推移



経常利益推移



親会社株主に帰属する当期純利益推移

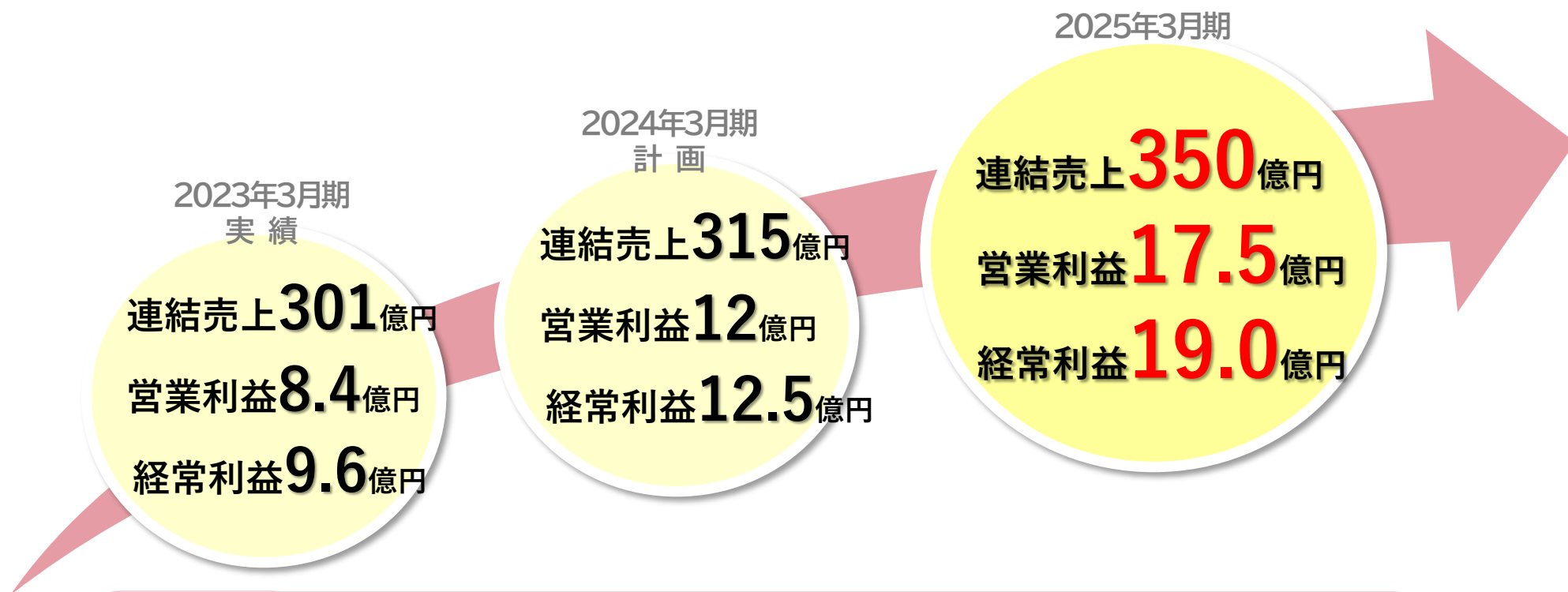


経営指標の推移

		2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月
総資産額	百万円	30,868	29,881	32,133	31,586	35,772
純資産額	百万円	20,811	20,845	21,749	20,623	21,312
自己資本比率	%	67.4	69.8	67.7	65.3	59.6
E P S (1株当たり利益)		66円83銭	82円57銭	53円67銭	72円60銭	60円98銭
P E R (株価収益率)	倍	17.18	11.4	18.97	13.15	20.91
1株当たり配当金 (年間表示)		28円00銭	30円00銭	30円00銭	33円00銭	36円00銭
P B R (株価純資産倍率)	倍	0.58	0.47	0.49	0.47	0.62
B P S (1株当たり純資産)		1,984円83銭	2,003円78銭	2,075円38銭	2,018円27銭	2,071円95銭
R O E (株主資本利益率)	%	3.39	4.13	2.58	3.60	3.00
R O A (総資産純利益率)	%	2.29	2.88	1.75	2.35	1.75
配当利回り	%	2.44	3.19	2.95	3.46	2.82
配当性向	%	41.9	36.3	55.9	45.5	59.0
D O E (株主資本配当率)	%	1.42	1.50	1.44	1.64	1.77

4. 中期経営計画の進捗状況

目指す姿	社会的要請に応え、成長・発展し続ける企業グループ
スローガン	構造改革への挑戦



成長戦略



- サービスラインナップの拡充による顧客基盤の拡大
- デジタルトランスフォーメーションへの取組み



- 総合ビル管理元請け受託力の増強
- 業務革新による収益向上



- 不動産ビジネス領域拡大
- 賃貸不動産取得による収益拡大

■ 中期経営計画最終年度(2025年3月期)業績見込み

売上高:345億円(計画比▲5億円)・営業利益:13.5億円(計画比▲4億円)・経常利益:14.0億円(計画比▲5億円)

第12次中期経営計画(2022年4月～2025年3月)

【目指す姿】社会的要請に応え、成長・発展し続ける企業グループ

(スローガン) 構造改革への挑戦

環境変化をふまえた事業構造改革への挑戦／サステナビリティ経営の徹底

■警備事業内ポートフォリオの革新 ■ビル管理事業ウエイトの拡大 ⇒ 収益構造の改革

経済的価値(財務・配当[最終年度(2025年3月期)])

第12次中期経営計画

財務・配当[最終年度(2025年3月期)]

連結売上	350 億円
営業利益	17.5 億円(営業利益率5.0%)
経常利益	19.0 億円(経常利益率5.5%)
戦略投資	期間累計70 億円(M&A・不動産)
配当方針	配当性向50%を目途に安定配当

見込み

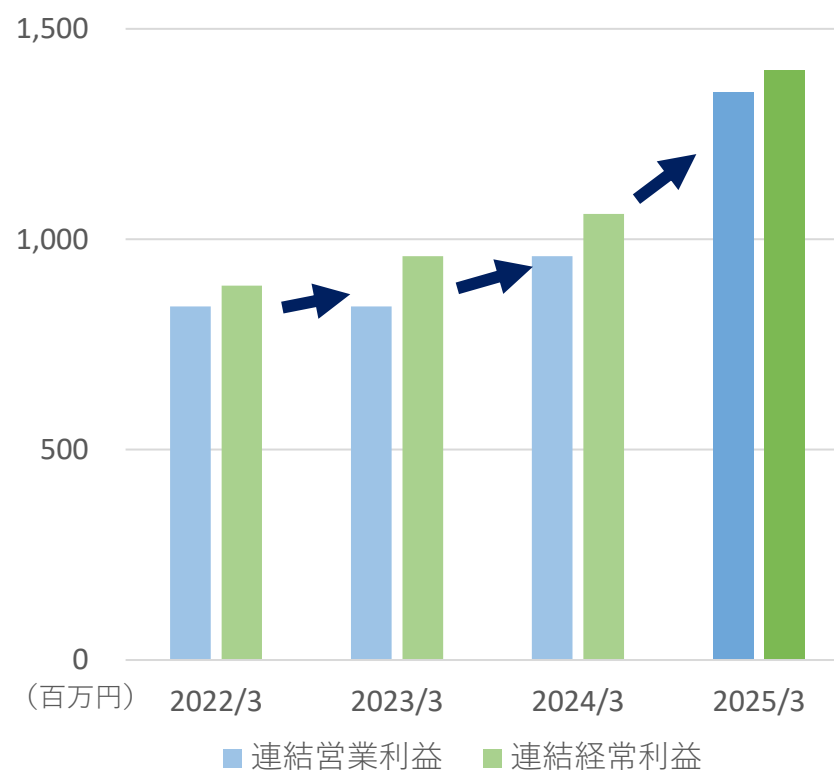
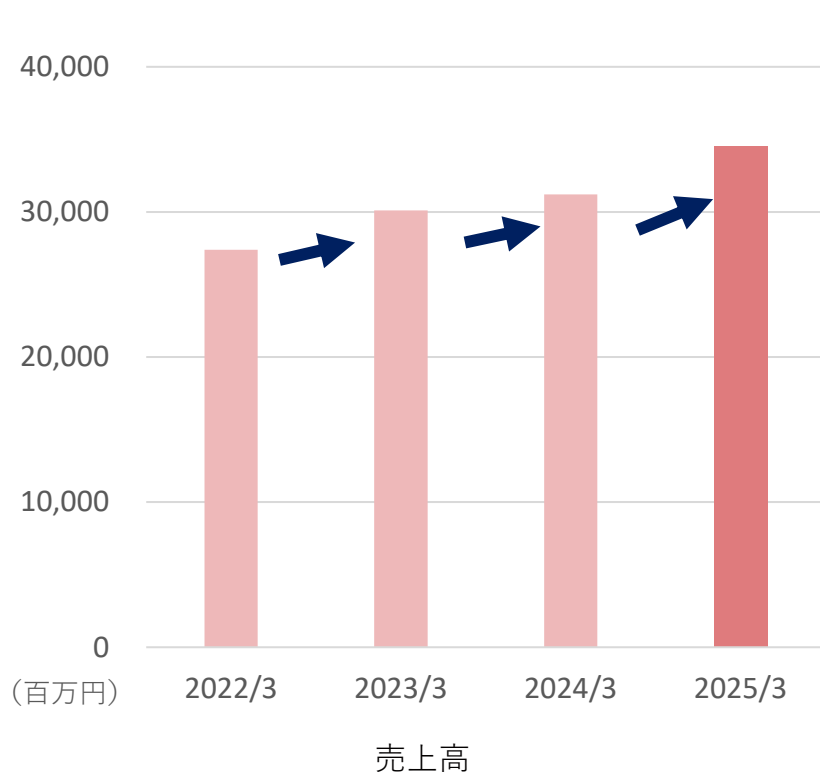
財務・配当[最終年度(2025年3月期)]

連結売上	345 億円
営業利益	13.5 億円(営業利益率3.9%)
経常利益	14.0 億円(経常利益率4.1%)
戦略投資	期間累計70 億円(M&A・不動産)
配当方針	配当性向50%を目途に安定配当

社会的価値(サステナビリティ経営の徹底)

- サステナビリティ活動の基本方針・マテリアリティに基づく取り組みを推進
- SDGs取組を進化させ脱炭素経営に取り組み(2030年度温室効果ガス排出量 2013年度比 ▲50%)

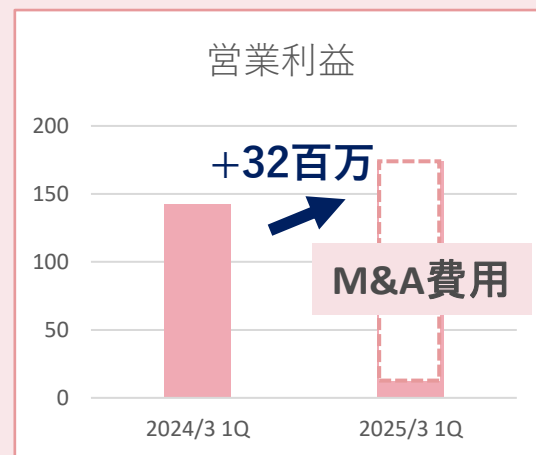
- 2025年3月期の業績見込みは、当初計画には未達となるが、増収増益基調は維持できる見通し。
- 警備会社のM&A実施や大阪・関西万博の警備の受注が決定する等、2026年3月期以降も増収増益基調は維持できる見込み。



- 警備事業が安定的に推移、前年同期比増収。
- 警備事業の基盤を強化を目的に、警備会社グループ2社をM&Aにより子会社化を実施。
M&A費用170百万円が先行し減益となるも、これを除けば営業利益は174百万円、+32百万円の増益と堅調。
- 各社の売上利益は第2四半期より連結対象となり、今年度は売上+15億円・営業利益+0～30百万円程度寄与することを見込む。

(単位：百万円・%)	2024/3 1Q実績	2025/3 1Q実績	前年同期比	2025/3 計画	2025/3 1Q進捗率
売上高	7,394	7,554	159	34,500	21.9%
営業利益	142	4	△138	1,350	0.3%
経常利益	176	26	△150	1,400	1.9%
親会社に帰属する 当期純利益	79	△71	△150	840	△8.5%

M&A費用170百万円を除けば
営業利益は174百万円、
+32百万円の増益と堅調。



5. 対処すべき課題と 今後の取組み

改善に向けた方針

- 1) ROE を重要指標として認識し、
①成長戦略の実行／②株主還元・資本政策の推進／③IR 活動の拡充により、
エクイティ・スプレッドを改善するとともに PBR の向上をはかる
- 2) 目指すべき ROE 水準⇒ 2027 年度末 **8%**水準

成長戦略の 実行	既存事業の収益改善	サービス品質の向上等により、適正な価格転嫁への取組み強化をはかる。
	積極的なM&A投資	現中計にも掲げているとおり、引続き戦略投資枠を設定し事業領域の拡大・新規事業への進出を推進する。
	資産ポートフォリオの見直しによる資本効率向上	保有有価証券の圧縮にあわせ、本業(警備・ビル管理)とのシナジーが見込める不動産投資を拡充し、資本効率の引上げをはかる。
株主還元・ 資本政策の 推進	配当政策の見直し	業績連動(配当性向)に加え、株主資本配当率(DOE)要素も意識した配当政策を検討する。
	株主優待制度の導入	株主に対する日頃の支援の感謝とともに当社株式への投資魅力の向上をはかる。
	流通株式増加への取組み	法人株主との交渉による流通株式拡大をはかる。
IR活動の 拡充	個人投資家説明会開催	年2回の実施を継続し、投資者との対話の機会を設ける。
	経営情報開示の強化	サステナビリティ活動等、非財務情報の開示の充実をはかる。



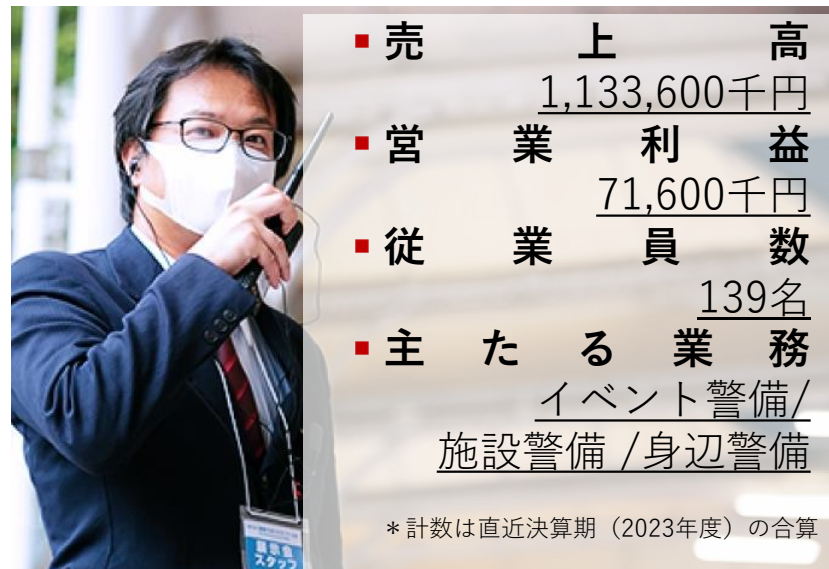
AMS・セキュリティサービス株式会社

2024年5月1日 株式取得（子会社化）



関西ユナイトプロテクション株式会社

2024年6月3日 株式取得（子会社化）



M & Aの効果・副次効果

① 収益力の増強

- ・ 収益率の高い機械警備の増強により収益力が向上



② 警備事業のラインナップ拡充

- ・ 従来手薄であったイベント警備・身辺警備の取込みにより警備業務サービスラインナップが拡大し、お客様ニーズへの対応力が向上



副次効果

① 万博警備対応力の向上

- ・ 大阪のアムスグループの合併により人員効率化効果を創出することで万博警備要員を確保
- ・ イベント警備経験を蓄積した人員の確保
- ・ 大型イベント警備のノウハウの吸収・展開

② さらなる収益力の向上

- ・ 対象機械警備の対応を既存人員でカバーする効率的運用によるコスト削減の実現

サービスラインナップの拡充による顧客基盤の拡大

TEC-SMART

高価で敷居が高そうな機械警備をお手頃価格で提供。

ターゲット：飲食店等の店舗、診療所
保育園、小規模事業所 等

point

- ・低価格
- ・スマホで警備操作
- ・セキュリティカード不要



ミマモリオ

高齢者やお子様を見守るサービス。

point

・低価格・仕組みがシンプル

冷蔵庫の扉にセンサーを取り付け開閉を感知



一定時間動作しない場合、メール通知



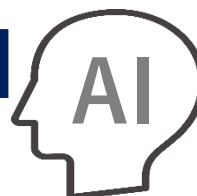
デジタルトランスフォーメーションへの取り組み

画像監視サービス

AI活用した画像解析技術革新によるクオリティ向上



不審者発見



監視センターに通知



外部のプロ人材を招聘してDX業務担当部署の強化を図り、新サービス企画力の向上を図る

■ 当社を幹事会社とする共同企業体での警備業務の受注が決定。

- 発注元 ◆ 公社) 2025 年日本国際博覧会協会
- 受注金額 ◆ 共同企業体全体で、10,819 百万円
※受注金額に対する共同企業体の中での売上計上方法は調整中
- 契約期間 ◆ 2024 年 1 月～ 2025 年 10 月
- 受注業務 ◆
 - ①ゲート警備実施業務 5,950 百万円
 - ②会場警備実施業務 4,869 百万円

2024年2月「2025大阪・関西万博推進部」を新設し、組織体制強化。

開催概要	開催時期	2025年4月13日(日)～10月13日(月)
	テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン
	開催場所	大阪 夢洲
	開園時間	9時～22時 (予定)
	想定来場者数	約15万人／日 (期間中 約2,820万人)
	会場敷地面積	約155ha
	想定警備員数	延べ人数34万人 (1,850人／日を想定)

■ 警備保障タイムズ第393号 (2024.2.1発刊) 掲載記事

「ゲート」「会場」警備は 東洋テックJV受注

大阪・関西万博 落札結果を公表

2025年大阪・関西万博を運営する日本国際博覧会協会（万博協会・十倉雅和会長）は1月9日、警備業務の一般競争入札・11案件の結果を公表した。東洋テック（大阪市浪速区、池田博之代表取締役社長）が幹事会社を務める共同企業体（JV）、ALSOK（東京都港区、相木伊久二代表取締役社長）などがそれぞれの警備業務を落札した。【都築孝史】

ALSOKは「施設」「イベント」

「2025年日本国際博覧会ゲート警備共同企業体（幹事会社・東洋テック）」は「ゲート警備実施業務」を59億5000万円で、会場警備共同企業体（幹事会社・同）は「会場警備実施業務」を48億6932万9284円で、それぞれ落札・受注した。合計金額は108億1900万円で、両業務の契約期間は2025年4月から10月まで。ALSOKは「施設警備のうち「業務実績等」では、

とあり。

発注元は万博協会で、昨年8月10日に一般競争入札を公告。入札では最低制限価格制度は採用されなかったが、事前に予定価格が公表された。入札の参加資格のうち「業務実績等」では、

大阪・関西万博 警備業務11案件の入札結果

案件名称	落札者	JVの代表会社	入札金額 (円、税抜)
ゲート警備	ゲート警備共同企業体	東洋テック	5,950,000,000
イベント警備	ALSOK (総合警備保障)		992,404,703
会場警備	会場警備共同企業体	東洋テック	4,869,329,284
施設警備	ALSOK (総合警備保障)		3,950,000,000
夢洲交通ターミナル警備	エムズジャパンセキュリティ		1,984,000,000
桜島交通ターミナル警備	日本管財		1,213,000,000
夢洲身障者駐車場等警備	夢洲身障者駐車場警備共同企業体	新大阪警備	988,000,000
堺地区会場外駐車場等警備	ブレイブアクトJV	ブレイブアクト	880,000,000
舞洲地区会場外駐車場等警備 (その1)	舞洲地区会場外駐車場 (その1) 警備共同企業体	伸和サービス	822,000,000
舞洲地区会場外駐車場等警備 (その2)	テイケイ		491,106,000
尼崎地区会場外駐車場等警備	ブレイブアクトJV	ブレイブアクト	541,900,000

JVの代表企業は過去20年以内に国際的大規模イベントの警備で中心企業として

の経験があることとなっていた。
東洋テックは「大阪・関西

万博は、日本経済と大阪・関西の地域経済の活性化やビジネス機会の拡大により約2兆円の経済波及効果が見込まれるビッグイベントです。当社は、地域貢献、公

共・公益に資するイベントへ積極的な貢献を果たすべく、大阪に本社を置く警備・ビル管理事業者として当社グループの総力をあげて取り組みますと述べている。

◇2025年大阪・関西万博 大阪市此花区の人工島・夢洲で開催予定の国際博覧会。開催期間は4月13日から10月13日の184日間、テーマは「いのち輝

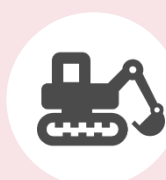
く未来社会のデザイン」。2005年に開催された愛知万博（愛・地球博）以来20年ぶり。大阪府での開催は1970（昭和45）年以來55年ぶりとなる。

- その他、万博関連業務の受注に向け取り組み強化。
- パビリオン、会場工事、公共交通機関等に警備とビル管理のアプローチを実施中。



パビリオン

国内パビリオン・海外パ
ビリオンの警備・清掃業
務需要。



会場工事現場

万博開催まで会場工事
現場の警備需要。



公共交通機関

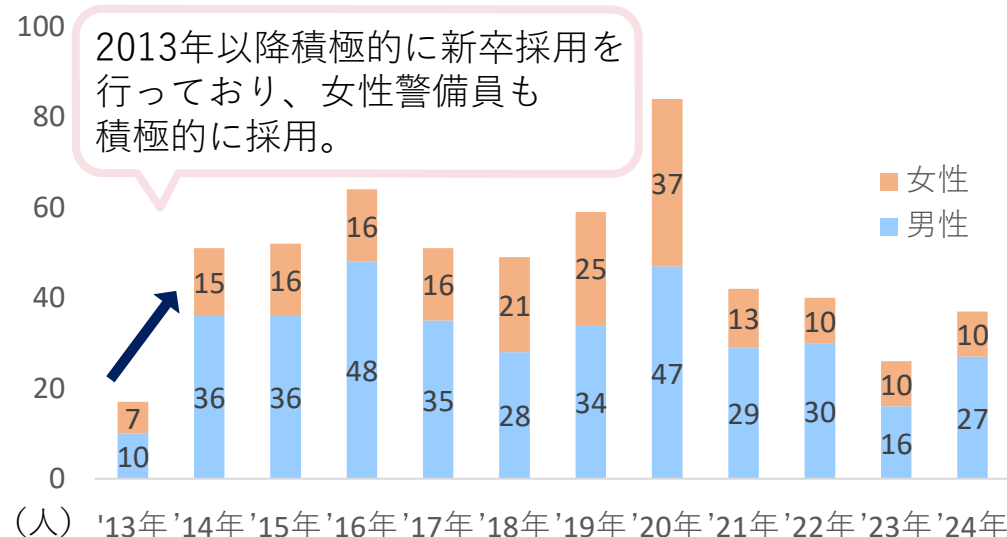
会期中は公共交通機関
の利用者増加に伴う警
備需要上昇。

2024年8月 海外パビリオン建設促進にかかる
入退場管理業務の受注決定。
< 受注金額 80百万円 >

採用活動の新たな取り組み

- リファラル採用制度の導入
⇒ 社員の親族や友人、知人に求人情報を届け応募を促す
- アルムナイ採用制度の導入
⇒ 退職者を再雇用する採用制度
- 人材紹介の活用
- ダイレクトリクルーティングの活用
⇒ 企業が直接求職者へアプローチをする採用手法
- アルバイトの活用
⇒ 万博に向けた採用（160人）

新卒採用人数の推移



離職防止

- メンター制度
 - 若手交流会
- 等による若年層離職防止

2023年度入社フォローアップ研修



2024年度入社 宿泊研修



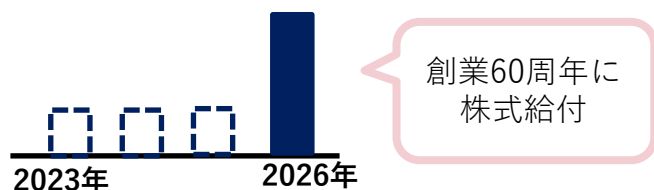
■エンゲージメント向上施策

エンゲージメントサーベイ

従業員の帰属意識向上、離職防止の為、実施。

従業員向け株式給付制度

創業60周年に向け、全従業員に株式を給付。



東洋テックグループオリジナルコンサート



取引先である「ザ・シンフォニーホール」にて開催。総勢約1,000名が参加。

■人材育成

多種多様な研修

業務別研修 機械/貴重品運搬/施設/雑踏 等

階層別研修 管理職/中堅社員/若手社員 等

女性活躍研修

設備研修(ビル管理)

英語研修

警備訓練

営業研修 等

TECグループS1グランプリ (2024年6月22日開催)

各業務のスキルNo.1を決める実技大会。100名が参加。



常駐警備部門



機械警備部門



人・街・未来をまもる
東洋テックグループ



記載内容に関するご注意

当資料は、あくまでも東洋テック株式会社をより良く理解していただくためのものです。

記載されている内容等は、当社が現時点で把握しているデータ等種々の前提に基づいて作成したものであり、記載された将来の計画数値、施策等の実現を確約したり、保証したりするものではありませんので、予めご了承下さい。

